

EXPLORER

ET-20

取扱説明書



このたびは EXPLORER ET-20
をお買い上げいただきまして
ありがとうございます。
ご使用の前にこの説明書をよくお読み
の上、正しくご使用ください。また、
お読みになった後は、大切に保存して
ください。

本機の使用は、日本国内で行ってください。
海外で使用することは出来ません。

株式会社エフ・アール・シー

目次

ご注意.....	4
通話チャンネルについて.....	7
ご使用の前に.....	8
付属品を確認する.....	8
電池の入れ方.....	9
ベルトクリップを取り付ける.....	10
各部の名称.....	11
液晶ディスプレイ表示.....	12

基本操作

通話をする.....	13
電源の入れ方.....	13
ボリューム調整.....	13
送信のしかた.....	14
チャンネルを選択する.....	15
チャンネルスキャン機能.....	15
グループモードで通話する.....	16

目次

応用操作

送信終了をベルで知らせる	17
ハンズフリーで通話する.....	18
自動的に電源を切る.....	19
誤った操作を防止する.....	20
確認音（キートーン）の設定.....	20
初期設定に戻す（オールリセット）	21
バッテリーの残りを見る.....	21

その他

故障かな？と思ったら.....	22
仕様.....	22
保証規定.....	23
保証書.....	24

ご注意

表示マークについて

本機を使用する際に、人体や財産に危害や損害を及ぼすことを未然に防ぎ安全に使用していただくため、重要な内容を記載しています。ご使用にあたり次の内容をよく理解していただくために表示マークと本文をよくお読みの上、正しくご使用ください。



危険

人体が死亡もしくは重症を負いかねない危険が明らかに生じることを想定される内容。



警告

人体が死亡もしくは重症を負いかねないことが生じることを想定される内容。



注意

人体が障害を負いかねなく、物的障害の発生を想定される内容。

⚠ 危険

- 本機の使用にあたり、当社オプションバッテリーパックまたは、単3型アルカリ電池以外は、使用しないでください。発火、発熱、破損の原因になります。
- 当社オプションの充電器以外での充電は行わないでください。発火、発熱破損の原因になります。
- 充電は5℃～40℃の範囲で行ってください。
- 火中に投入、分解、改造はしないでください。
- 電池が液漏れを起こしたときは、使用をやめてください。
- 液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚に付着した時は、きれいな水で洗い流してください。



警告

- 運転中の使用は、絶対に行わないでください。
- 医療機関や電子機器の近くでは使用しないでください。
- 航空機、空港内、電車の中では使用しないでください。
- 海外での使用はしないでください。
- 充電は、AC100V以外では行わないでください。
ぬれた手でACアダプターに触れたり、電源コードに触れたりしないでください。感電することがあります。
- 本機は直射日光を避けて風通しの良い状態でご使用ください。
- ごく近くに人がいる場合、送信をしないでください。
- 湿度の高い場所での使用はおやめください。また、雨水などにさらされないように注意してください。
- 落下などにより、破損したり正しく動作していないときは、使用しないでください。
- 使用中に煙が出た場合、すぐに使用をやめて電池をはずし、お買い求めいただきました販売店または弊社までご連絡ください。



注意

- テレビ、ラジオ、ストーブ、電子レンジなどのそばで送信しないでください。
- 車内のダッシュボードの上など、高温になるところに置かないでください。
- アンテナは先端が細くなっています。誤って目に差したりしないように注意して使用してください。
- 長期間使用しないときは、電池やバッテリーパックをはずして保管してください。
- 本機の汚れがひどい時は、水で薄めた中性洗剤でやわらかい布で軽くふき取ってください。シンナーやベンジンは使用しないでください。
- 本機裏に貼ってある、技術基準適合ラベルをはがさないでください。はがした状態では、電波を出すことが出来ません。

ご注意

電波法に関する注意

※下記の内容は電波法により禁止されています。

- 本機裏面の技術適合証明ラベルをはがしての使用。
- 本機を分解、改造しての不正使用。
- 他人の通話を聞いてこれを人に漏らす行為。
- 航空機など使用を認められていないところでの使用。

上記の内容をよく理解して、正しくご使用ください。

ご使用上の注意

- 本機は、特定小電力トランシーバー、9ch.機、11ch.機、20ch.機のトランシーバーと通話することが可能です。現在お持ちのトランシーバーがグループモードが無いトランシーバーにおいては、本機のグループモードはOFFでご使用ください。
- 通話できる距離は、環境により大きく変わります。目安として、見晴らしの良い郊外で1～2km、市街地で100～200mです。建物などの障害物により通話距離が大きく左右します。
- 本機は防水構造になっておりません。雨の日や、水がかかるようなところでの使用は、本体がぬれないように注意して使用してください。
テレビ、ラジオ、パソコン、蛍光灯のすぐそばでは、電波障害を与えたり、受けたりすることがありますので、これらのものから離れて使用してください。

通話チャンネルについて

すでに本機以外のトランシーバーをお持ちの場合、通信チャンネルを合わせることで本機と交信することが可能です。

通話チャンネル適合表

ET-20	FC-S20	11ch. 機	9ch. 機	他表示タイプ 20ch. 機
ch. 1	ch. 1	ch. 1		ch. 1
ch. 2	ch. 2	ch. 2		ch. 2
ch. 3	ch. 3	ch. 3		ch. 3
ch. 4	ch. 4	ch. 4		ch. 4
ch. 5	ch. 5	ch. 5		ch. 5
ch. 6	ch. 6	ch. 6		ch. 6
ch. 7	ch. 7	ch. 7		ch. 7
ch. 8	ch. 8	ch. 8		ch. 8
ch. 9	ch. 9	ch. 9		ch. 9
ch. 10	ch. 10	ch. 10		ch. 10
ch. 11	ch. 11	ch. 11		ch. 11
ch. 12	ch. 12		ch. 1	ch. h1
ch. 13	ch. 13		ch. 2	ch. h2
ch. 14	ch. 14		ch. 3	ch. h3
ch. 15	ch. 15		ch. 4	ch. h4
ch. 16	ch. 16		ch. 5	ch. h5
ch. 17	ch. 17		ch. 6	ch. h6
ch. 18	ch. 18		ch. 7	ch. h7
ch. 19	ch. 19		ch. 8	ch. h8
ch. 20	ch. 20		ch. 9	ch. h9

ご使用の前に

付属品を確認する。



本体



ベルトクリップ



保証書付取扱説明書

使用する電池

アルカリ乾電池（単3型 3本）

充電式電池..... FBP-1 (700mA/h ニッケド電池)

使用時間のめやす

種類	使用時間
アルカリ電池	約60時間
FBP-1	約24時間

使用状態送信5秒、受信5秒、待ち受け50秒を繰り返したときアルカリ電池は、製造メーカーにより、異なることがあります。充電式電池は、満充電した状態です。

※市販の単3型充電電池は使用しないでください。

不要になった電池は、廃棄しないでリサイクル協力店にお持ちください。
リサイクルにご協力ください。



NI-CD NI-MH

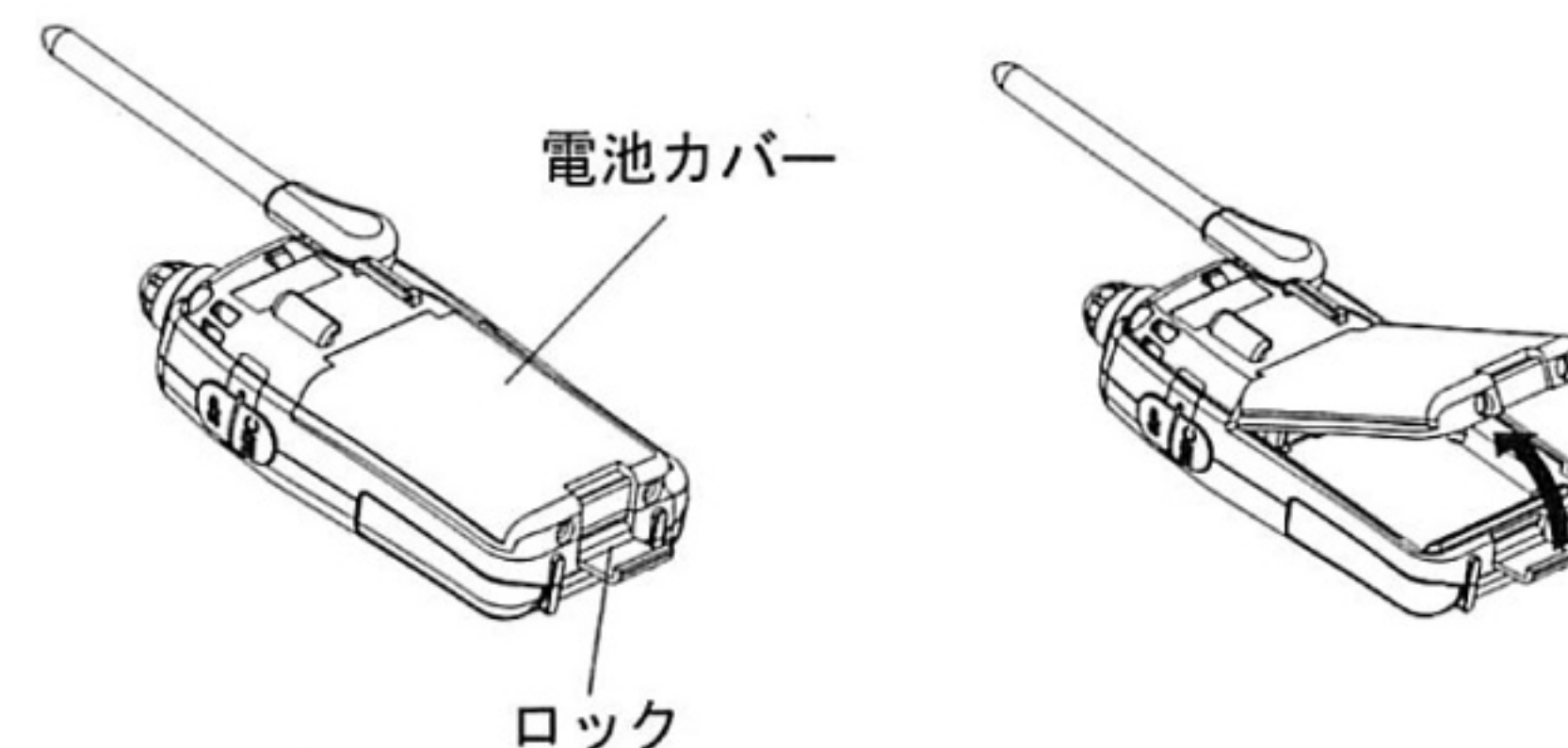
ご使用の前に

電池の入れ方

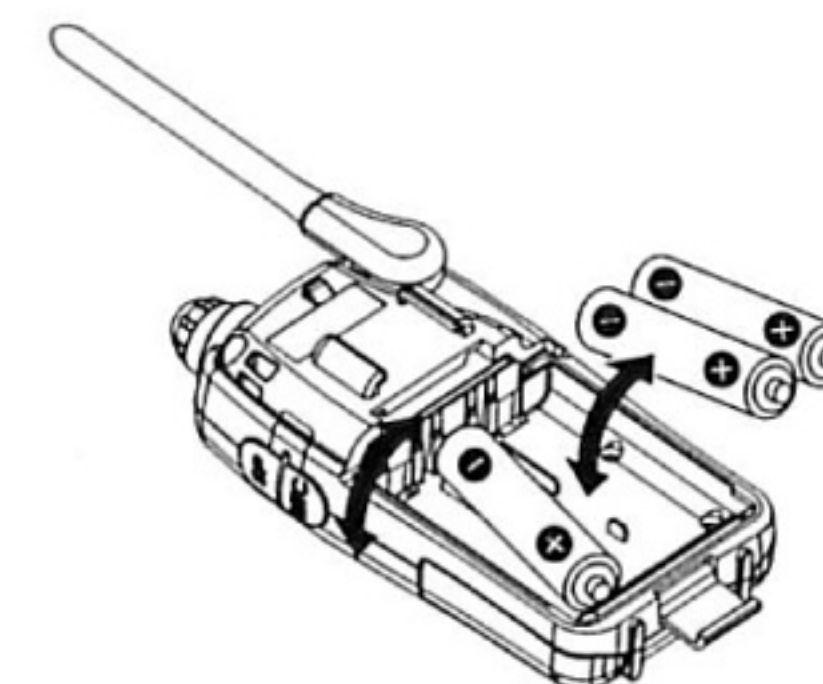
アルカリ電池3本を入れます。

電池の挿入、交換はベルトクリップをはずし、アンテナを立てた状態で行ってください。

1、ロックをはずし、電池カバーをはずします。



2、電池ケースの+・-のマークに従って間違いの無いようにアルカリ電池を入れます。



※初回、本体へ電池を装着する時に初期設定モードが働き、本体の電源が自動的にONとなります。

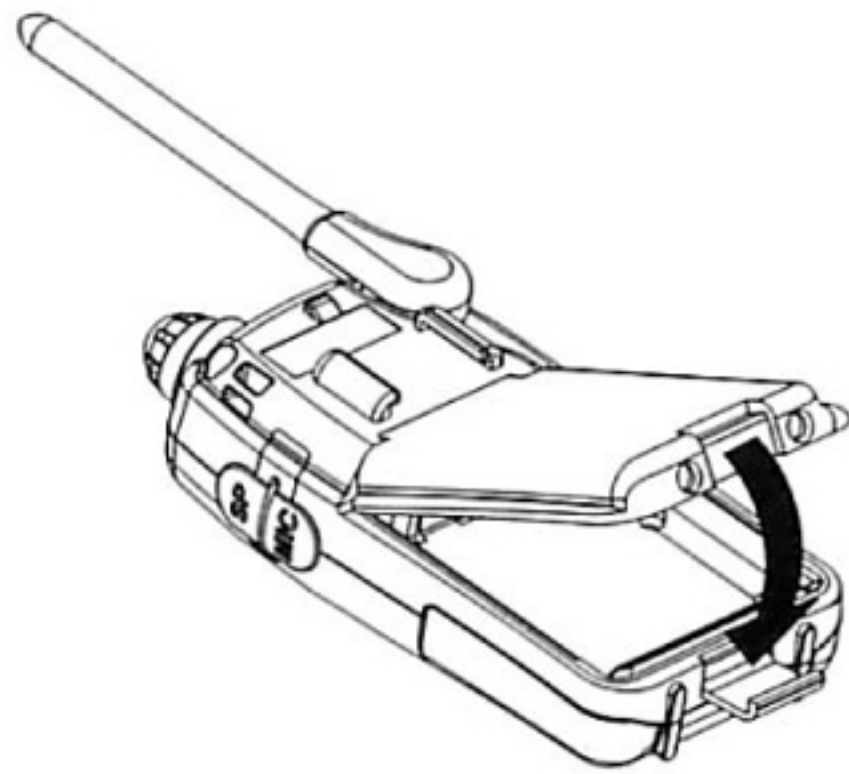
引き続きご使用にならない場合は、POWERボタンを押して電源をお切りください。

電池を交換する際も初期設定モードが働きますので同様に操作をしてください。

※オプションのバッテリーパックを使用する場合も、+・-を間違えないように行ってください。

ご使用の前に

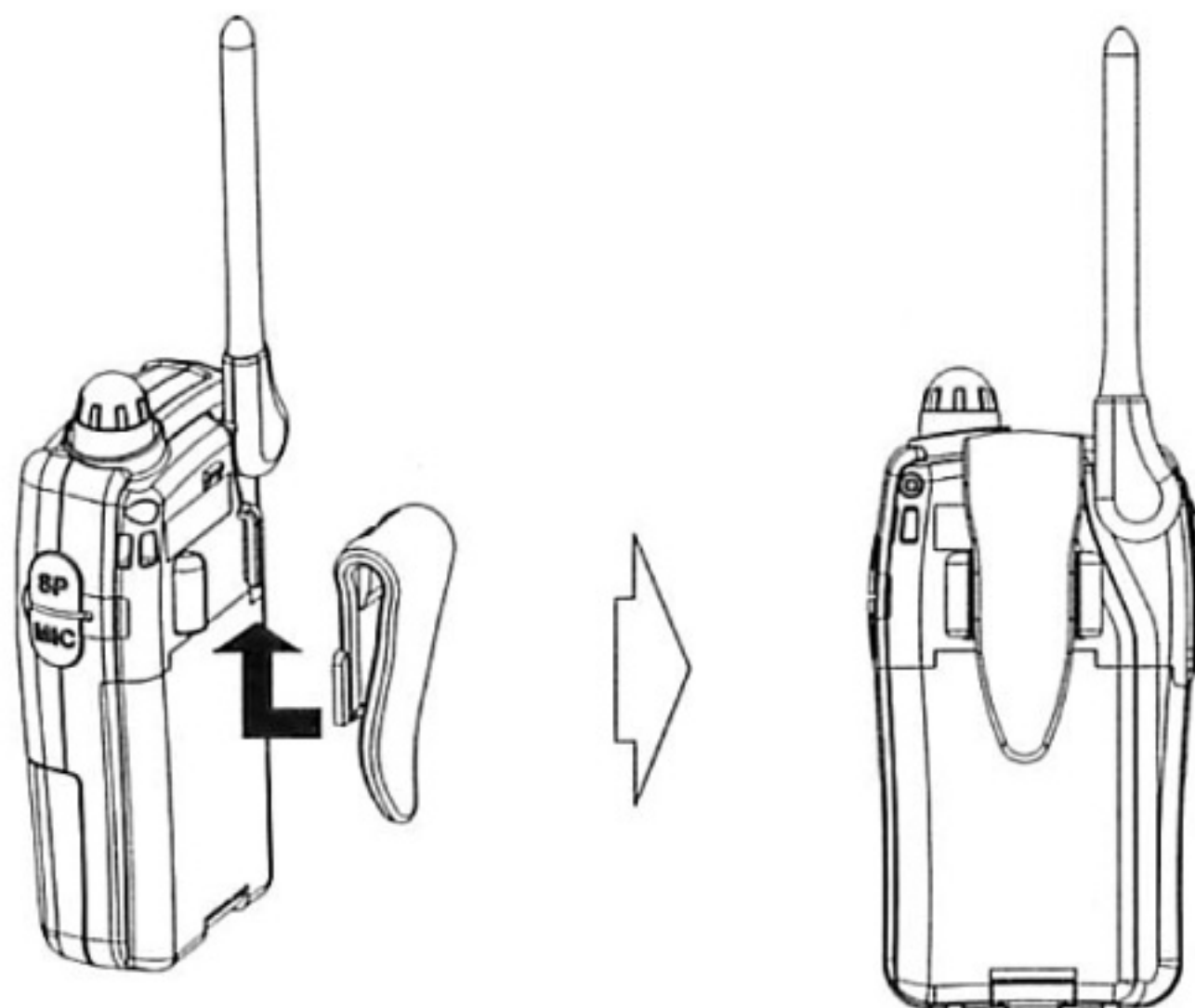
3、電池カバーを閉めてロックします。



※電池がしっかり入っていないとロックできません。
ロックが出来ないときは、電池がしっかり入っているか、＋・－は間違えていないかを確認してください。

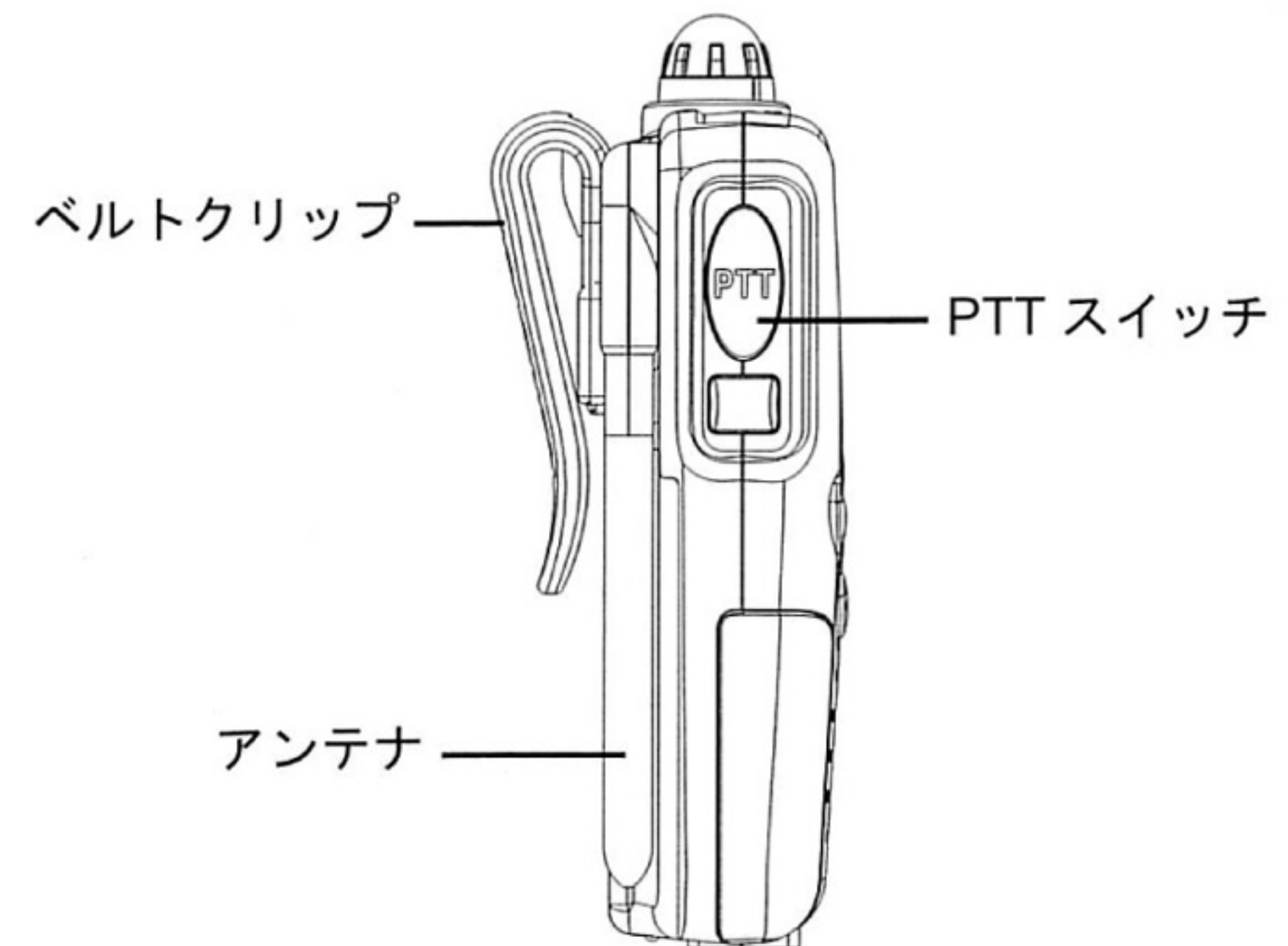
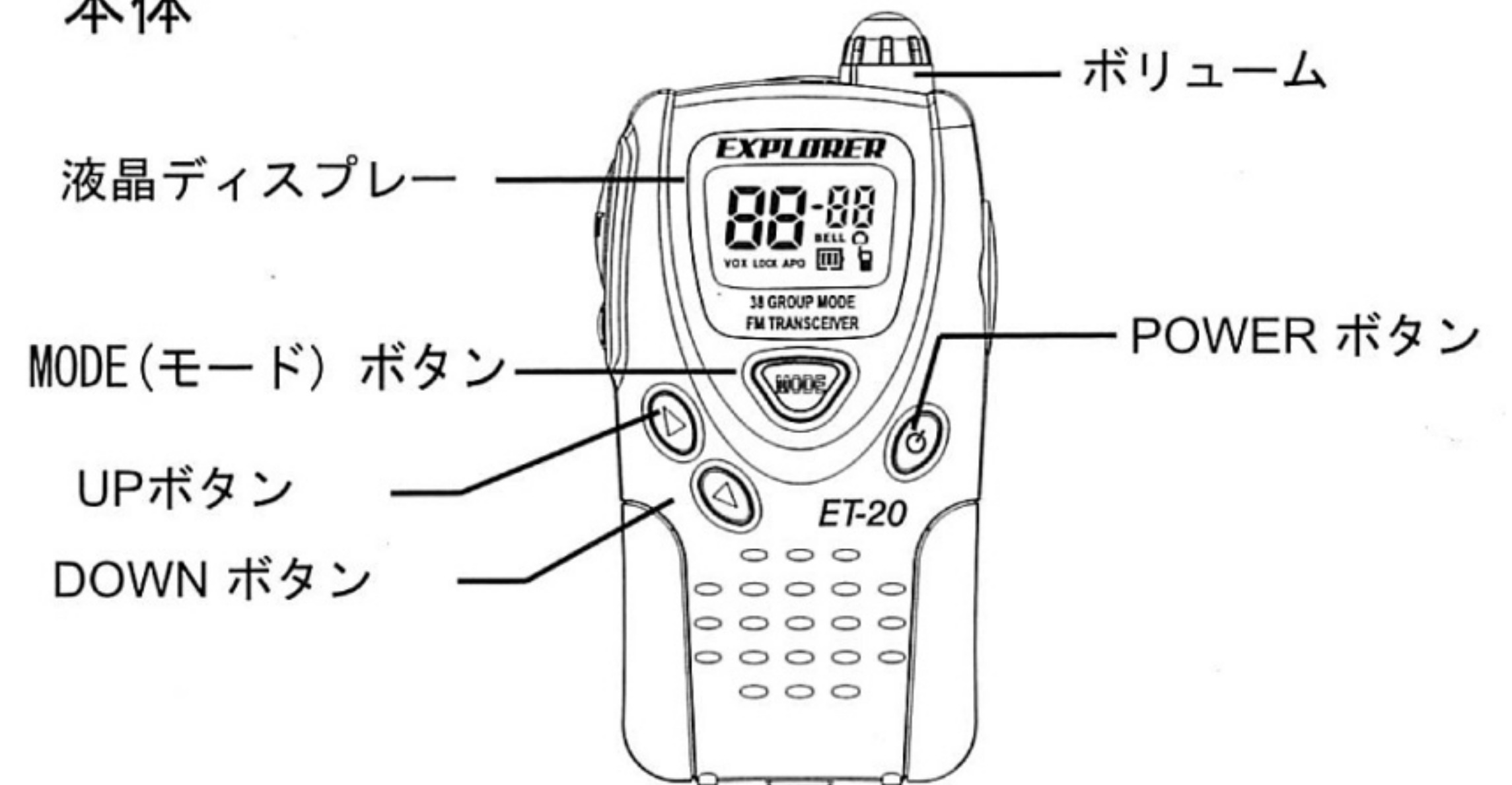
4、ベルトクリップを取り付けます。

- 本体のガイドにあわせベルトクリップを取り付けます。
上部にスライドさせ「カチッ」と音がしたらロックされます。



各部の名称

本体



液晶ディスプレイ表示



通話をする

電源の入れ方

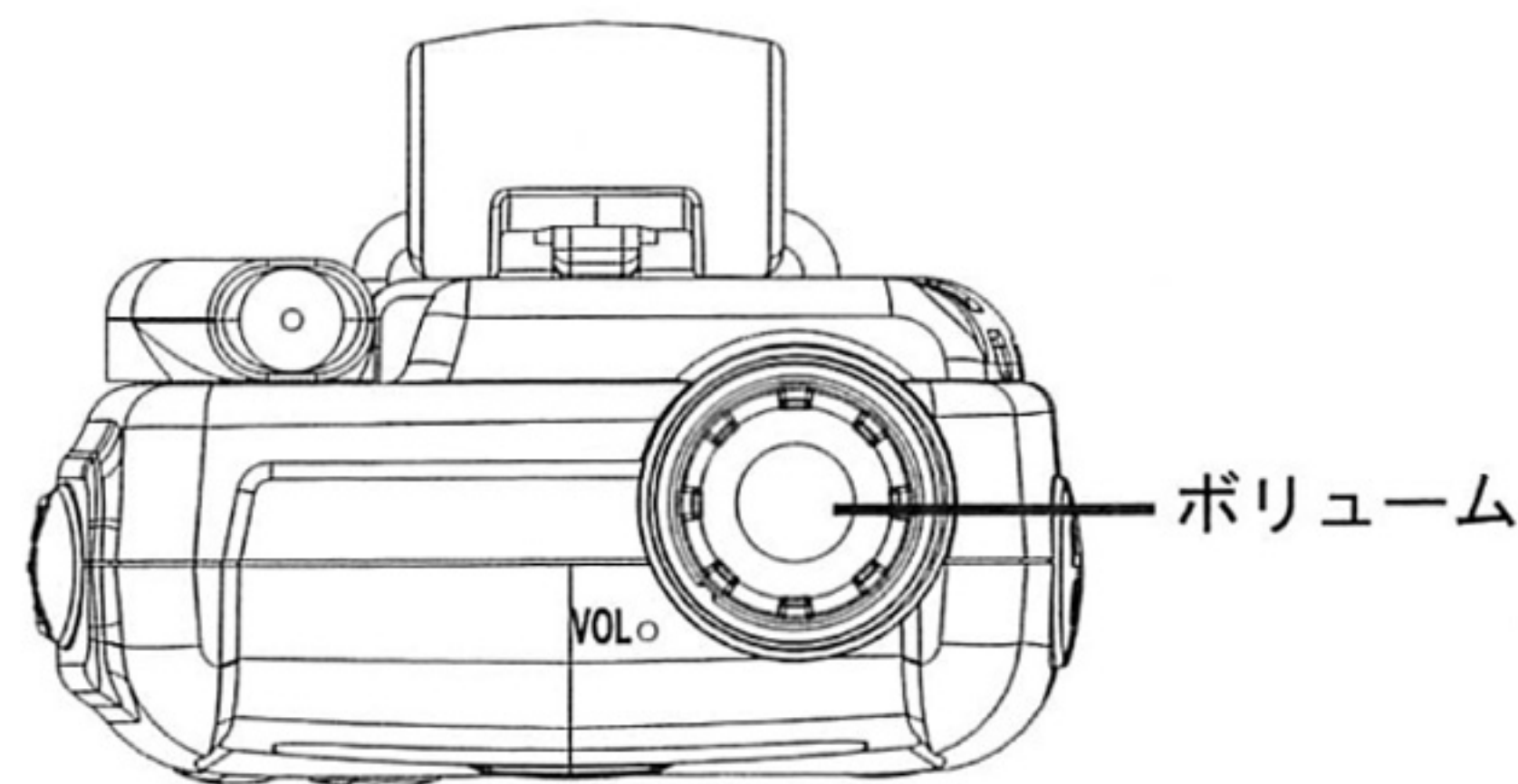
1. PWR (POWER) ボタンを1秒以上押します。
電源が入り、液晶ディスプレイに表示が出ます。
ランプは約5秒で消えます。



2. 電源を切るときは、PWR (POWER) ボタンを1秒以上長押しします。

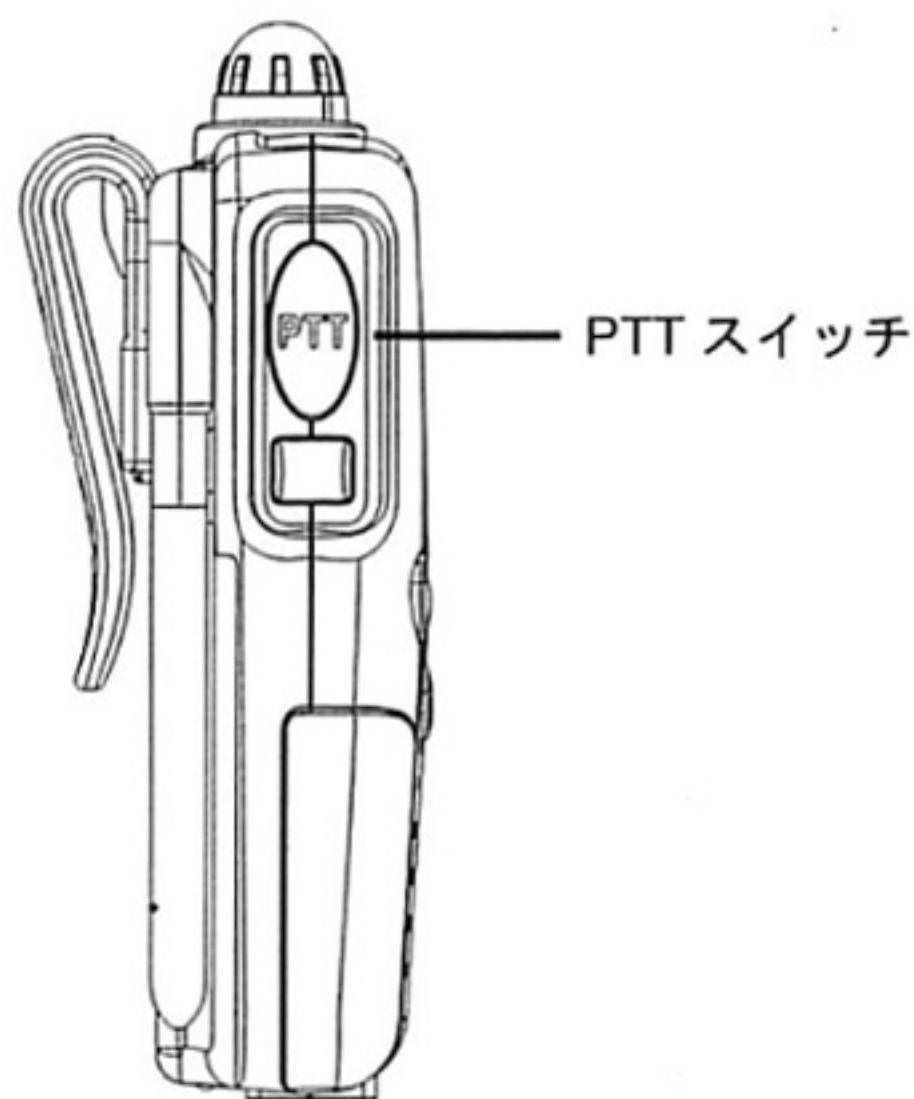
ボリューム調整

ボリュームを右に回すと音が大きくなり、左に回すと音が小さくなります。



送信のしかた

1. PTTスイッチを押すと、送信状態になります。
マイクスピーカー部分から5 cmくらい離して通話してください。



送信中の液晶ディスプレイ表示

2. PTTスイッチから手を離すと受信待受状態になります。



信号受信中の液晶ディスプレイ表示

3. 信号受信中の液晶ディスプレイ表示が出ている時は
PTTスイッチを押しても「ピー音」が鳴り、送信できません。

チャンネルを選択する

チャンネルを選ぶ

1. UP(アップ)/DOWN(ダウン)ボタンで1~20ch. の希望のチャンネルを選択してください。

チャンネル表示



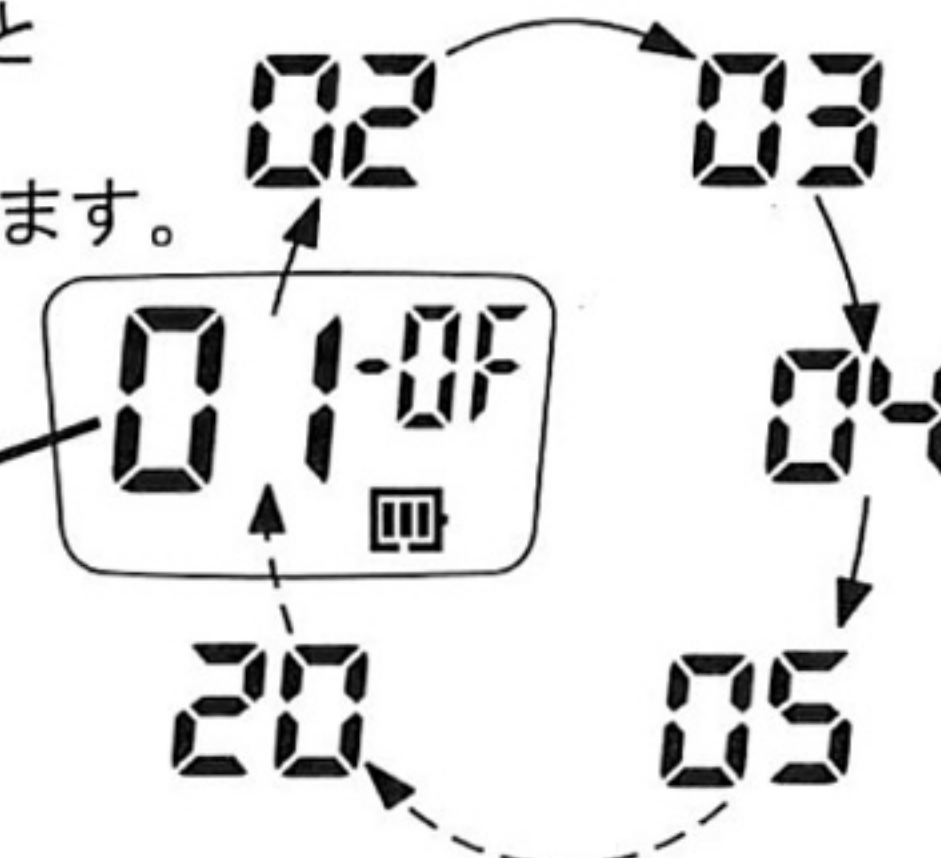
- 通話したい相手と同じチャンネルに合わせてください。
PTTスイッチを1回押すと、表示しているチャンネルが決定されます。

チャンネルスキャン機能

本機は通話をしているチャンネルを自動的に探すことができます。

1. UP(アップ)/DOWN(ダウン)ボタンを短時間押して、
チャンネル表示が点滅していることを確認し、UP/DOWN
ボタンを、1秒以上長押しすると
チャンネルが動き出して受信したチャンネルで自動的に止まります。

チャンネル表示



2. 受信信号がなくなると再度スキャンを始めます。
3. PTTスイッチを1回押すと、表示しているチャンネルが決定されます。

グループモードで通話する

グループモード機能

同じチャンネルを他のグループと同時に使用する場合、他のグループの通話が聞こえてしまいますがグループモードを使用することにより、同じグループのみの通話を行うことができます。

1. MODE(モード) ボタンを1回押し、グループ番号表示を点滅させます。
2. UP(アップ)/DOWN(ダウン) ボタンで1~38ch. の希望のグループを選択してください。OF は、グループモードを使用しない状態です。



グループ番号表示

3. PTTスイッチを1回押すと、表示しているチャンネルが決定されます。

- グループ番号が違ってても、音声は聞こえませんが受信状態になります。そのときにPTTを押しても「ピー」音が鳴り送信できません。受信状態の液晶サインが出ていないときに送信してください。



受信状態

送信終了をベルで知らせる

ベル機能

通話の後に呼び出し音で相手に知らせます。
送信が終了したことをベルで相手に知らせることが出来ます。

1. MODE(モード) ボタンを2回押してベルコール表示を点滅させます。



ベルコール表示

2. UP(アップ)/DOWN(ダウン) ボタンでON, OFFを選択してください。
3. PTTボタンを押して決定します。

ハンズフリーで通話する

ハンズフリー機能 (VOX機能)

PTTスイッチを押さずにマイクに話すだけで、自動的に送信することができます。話が終わると待ち受け状態に戻ります。

1. MODE(モード) ボタンを3回押してVOX(ハンズフリー) 表示を点滅させます

ハンズフリー表示



2. UP(アップ)/DOWN(ダウン) ボタンで1～3の音の感度を調整します。1でより小さな音に反応します。ハンズフリー機能を使用しないときは0Fを選択してください。

3. PTTボタンを押して決定します。

●オプションのイヤホンマイクなどを使用すると、両手を離しての通話が可能です。

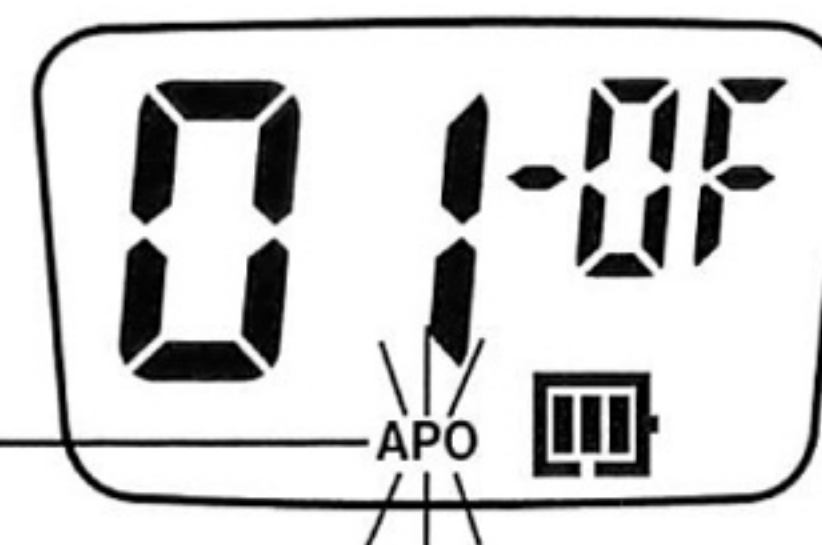
自動的に電源を切る

オートパワーオフ (APO)

設定した時間になると自動的に電源が切れます。電源の切り忘れを防止する機能です。

1. MODE(モード) ボタンを4回押してAPO(オートパワーオフ) 表示を点滅させます。

オートパワーオフ設定表示



2. UP(アップ)/DOWN(ダウン) ボタンで1(時間)～6(時間)の設定をします。
3. PTTボタンを押して決定します。

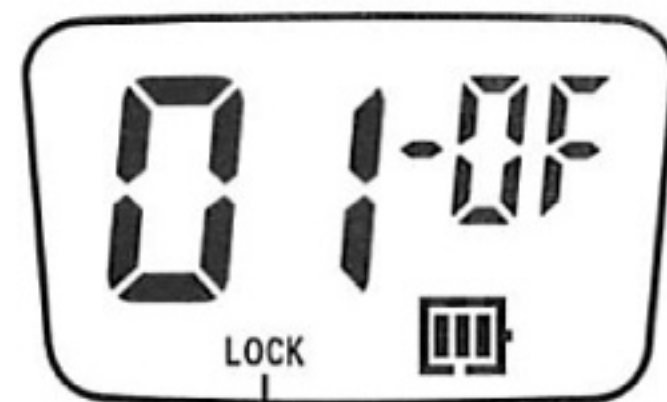
誤った操作を防止する

キーロック

使用中に誤った操作をしても動作しないように設定します。

1. MODE(モード) ボタンを3秒以上長押しするとキーロック表示が出て、PTTスイッチ、MODE(長押し) ボタン以外の操作は無効になります。

キーロック表示



2. キーロックを解除するときは、再度MODE(モード) ボタンを3秒以上長押ししてください。

確認音 (キートーン) の設定

1. 電源が切れた状態で、DOWN(ダウン) ボタンを押したまま、POWER(パワー) ボタンを押します。
2. 確認音を鳴らす場合は液晶ディスプレイがONの状態を確認してください。

DOWN(ダウン) ボタン

POWER(パワー) ボタン



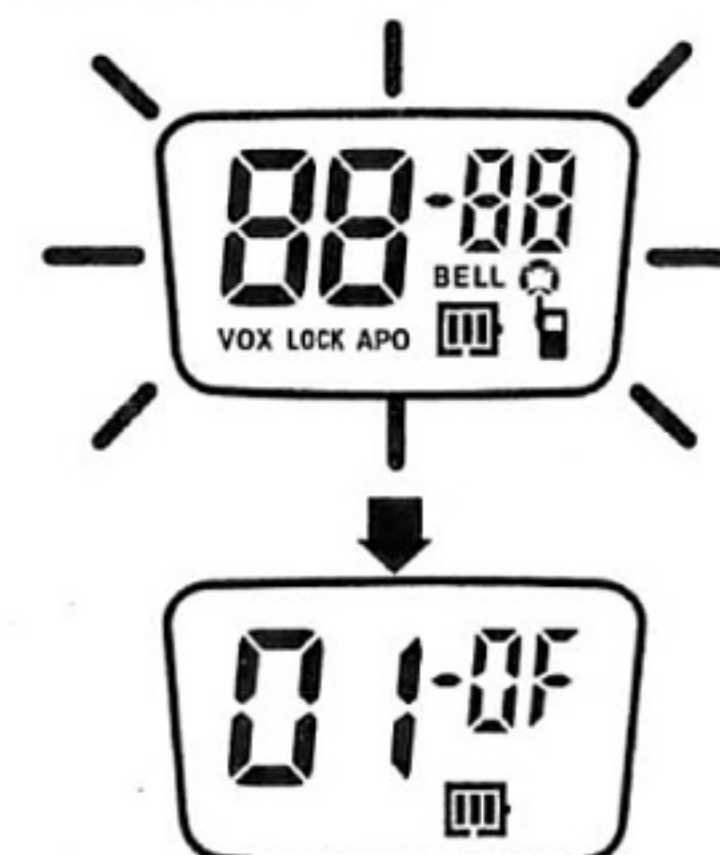
3. 確認音を鳴らさないようにするには、再度電源を切り、DOWN(ダウン) ボタンを押したまま、POWER(パワー) ボタンを押します。

初期設定に戻す(オールリセット)

動作が不安定な状態や誤動作を起したときや、ディスプレイの表示に異常が生じたときにお買い上げ時の状態に設定を戻します。

※この時、お客様が設定した設定はすべて消去されますのでご注意ください。

1. 電源を切ります。
2. MODE(モード) ボタンを押しながらPOWER(パワー) ボタンを押します。
一瞬液晶ディスプレイのすべての表示が出てすぐに通常画面に戻ります。
3. 初期設定に戻りました。



バッテリーの残りを見る

バッテリー表示の3本のバーが、すべてついている状態であれば、問題なく使用することができます。容量が少なくなるとバーの数が少なくなります。その際は、注意して使用していただき、新しいバッテリーに交換して使用してください。バーは、目安にしてください。

使用可能



使用注意

故障かな？と思ったら

もしも不具合が生じた場合、修理を依頼される前に下記の表により確認してください。該当する症状がない場合は、オールリセットしてください。オールリセット→21ページ。(初期設定に戻ります)

症状	原因	処理	ページ
電源が入らない	●電池が入っていない ●電池が消耗している ●電池の入れ方が違う	●電池を入れる ●電池を交換する ●＋・－を確認し入れる	9
通話できない	●チャンネル、又はグループ番号が違う ●距離が遠すぎる	●チャンネル、又はグループ番号を合わせる ●通話可能な距離で使用する	15 16 6
送信できない	●が点灯している	●が消えるのを待つ又は他のチャンネルを選ぶ。	15 14
キーを押しても動作しない	●キーロックがかかっている	●キーロックを解除する	20
受信できない	●PTTが押された状態である	●PTTを離す	14
聞き取れない音が入る	●同じチャンネルで違うグループ番号で使用している	●チャンネルを変える	15

仕様

送・受信周波数	422.050～422.300 MHz (12.5KHzステップ)
電波型式	F3E
送信出力	10mW
受信感度	-14dBμ以下 (12dB SINAD)
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン方式
電源電圧	DC3.6～4.5V (単3形アルカリ電池×3本、またはオプションのバッテリーパック FBP-1)
消費電流	受信待ち受け時約50mA、受信最大時約140mA、送信時約70mA
使用温度範囲	-10～+50℃
寸法	幅58×高さ103×奥行28mm (突起物を含まず)
重量	約180g (単3形アルカリ電池3本を含む)

保証規定

保証書

- 本取扱説明書の最終ページに保証書を添付しています。保証書は必ず「お名前、ご住所、お買い上げ日、販売店名」などを記入、ご確認の上販売店より受け取ってください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。
- 修理を依頼される前に、「故障かな？と思ったら」(P22)を参照していただき、解決されないようでしたら、本機の電源を切り、お買い求めの販売店または弊社にお問い合わせください。
- 修理に出す前に、お客様が設定したデーターをお控えください。修理内容によっては、すべてのデーターが削除される場合があります。
- 本機の不具合により通話不能などにより発生した損害、被害につきましては弊社は一切の責任を負いませんので、ご了承ください。
- 正常な使用で故障した場合、保証書の規定に従い、お買い求めの販売店または弊社で、修理させていただきます。その際は必ず保証書をご提示ください。
- 保証期間が過ぎましたら、お客様の希望により有料にて修理いたします。お買い求めの販売店または弊社までご相談ください。

無料保証規定

1. 保証期間内に、取扱説明書、添付ラベル等の注意書に従って正常に使用し故障した場合、無料修理させていただきます。
2. 無料修理を受ける場合、お買い求めの販売店または、弊社まで保証書を添えてご依頼ください。
3. ご転居の場合は、事前にご相談ください。
4. ご贈答品等で保証書に記載されている販売店に修理の依頼ができない場合は、弊社までご相談ください。
5. 次の場合には保証期間でも有料修理になります。
 - (イ) 保証書の提示がない場合。もしくは、お客様名、販売店名、お買い上げ年月日の記入が無い、もしくは字句を書き換えた場合。
 - (ロ) 使用上の誤りや不当な修理、調整、改造による故障およびそれが原因で生じた故障および損傷。
 - (ハ) 故障の原因が本機以外の製品にある場合。
 - (ニ) 落下、冠水などによる故障および損傷。
 - (ホ) 火災、地震、風水害、落雷、塩害、その他天災地変などの不慮の事故による故障および障害。
 - (ヘ) 製造番号の改変もしくは取り外した製品。
 - (ト) 消耗部品 (充電機、バッテリー等)

保証は、日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)

※この保証は本書に明記した期間、条件において無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間終了後の修理などについて、不明な点はお買い求めの販売店もしくは弊社までお問い合わせください。

株式会社エフ・アール・シー
〒194-0035 東京都町田市忠生4-11-8
お客様相談室 042-793-7740

保証書

持込修理

EXPLORER

保証期間中は正常な使用状態で故障した場合、保証書の規定により無料修理させていただきます。

- 修理は本保証書を提示し、お買い求めの販売店または 弊社にお問い合わせください。
- 本保証書はお買い上げ日、販売店名の記入捺印のないものは無効です。必ず記入事項の確認をしてください。
- 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 本製品は持込修理とさせていただきます。

お客様へのお願い

お手数ですがご住所、お名前、電話番号をご記入ください。

ご販売店様へ

お買い上げ日、貴店名、住所、電話番号を記入の上本保証書をお客様にお渡しください。

機種名	製造番号	S/N:FETN612915245
EI-20	S/N:FETN612915246	
お客様	お名前	様
	ご住所	
保証期間	1年	お買い上げ日 年 月 日
販売店名、住所、電話番号		